

2024年9月10日発行

東海生研 ～メールマガジン 第237号～

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会

1. 2024年度「知」の集積による産学連携推進事業

☆第3回セミナー開催について

【開催日時】2024年10月31日（木）午後から開催

【開催方法】オンライン（Zoom Webinar）開催

詳細は決まり次第、メルマガ・HPでお知らせいたします。

.....

2. 東海地域内のセミナー・シンポ・会議等

☆東海農政局消費安全部・消費生活課

★「第25回シーフード料理コンクール」参加者を募集！

<みんなでお活#おさかな愛>

全国漁業協同組合連合会は、「第25回シーフード料理コンクール」を開催します。このコンクールでは、アイディアあふれる魚介藻類のオリジナルレシピを募集し、優秀作品を広くPRすることで、多くの方々にお魚料理の美味しさを再発見していただきたいと考えています。

○プロを目指す学生部門「自慢料理」

○魚活チャレンジ部門「フライパン1つでできる」

【25周年記念特別部門】親子で魚活チャレンジ部門「おにぎり」

応募締切：令和6年9月20日（金曜日）当日必着

詳細はこちら▼

https://www.pride-fish.jp/seafood_concours/（外部リンク）

参加申込はこちら（参加申込フォーム）▼

https://www.pride-fish.jp/seafood_concours/form/（外部リンク）

.....

3. 2024年度の競争的研究資金について

【研究開発関連】

■省庁等

☆JST：「2024（令和6）年度 研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP）実装支援（返済型）」

☆JST：「令和7年度 国際科学技術共同研究推進事業 地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム」

■民間等

☆公益社団法人日本農芸化学会：「第7回農芸化学中小企業産学・産官連携研究助成」

☆公益社団法人日本農芸化学会：「第52回研究奨励金」

2024年度の競争的研究資金については東海生研ホームページの「NEWS」欄に最新情報を掲載していますのでご覧下さい。<https://www.biotech-tokai.jp/>

.....

4. その他の情報

(1) 新技術情報

☆家禽関係

「未利用の食品製造副産物を混ぜて 飼料効率をアップ！-名古屋コーチンにおける地域資源飼料の利用技術を開発」

近年の飼料価格の高止まりが養鶏経営を圧迫しています。そのため、名古屋コーチンにおいて食品製造副産物（乾燥出汁しぼり粕・バウムクーヘン屑）を飼料原料として市販配合飼料に混合し、飼料費を低減する技術を開発しました。これにより、生産コスト削減とともに、1羽当たりの粗利益を増加させることができます。

・愛知県農業総合試験場 HP:2023年愛知県農業総合試験場の10大成果

<https://www.pref.aichi.jp/nososi/>

☆獣害防除関係

「アラ！つつい手がでる「新(アラ)手の罠」-アライグマだけが自ら入る「捕獲器」を開発」

特定外来生物のアライグマは、農業被害だけでなく、生態系破壊、感染症媒介への不安等から捕獲強化が望まれています。しかし、従来の箱罠では、イヌ・ネコ等が誤って捕獲されてしまうことがあり、アライグマの捕獲が進んでいません。そこで、アライグマの前脚が器用に動かせるという身体特性を活かして選択的に捕獲する捕獲器を開発しました。

・愛知県農業総合試験場 HP:2023年愛知県農業総合試験場の10大成果

<https://www.pref.aichi.jp/nososi/>

☆果樹関係

「航空輸送を想定したイチゴ鮮度保持技術の開発」

静岡県の農産物の輸出は増加しており、イチゴの輸出は香港への航空輸送が期待されています。しかし、航空輸送の貨物室では温度管理ができないことから、特に5月の輸送条件では高温による品質低下のクレームが多く発生し、より良い流通方法が要望されていました。そこで、航空輸送に利用可能な低温輸送技術として、ドライアイスを用いた貯蔵流通技術を開発しました。

・静岡県農業技術研究所 NEWS2024.8

<https://www.pref.shizuoka.jp/sangyoshigoto/norinjimusho/1058658/index.html>

☆茶関係

「ドローンを活用した茶園生育診断技術の開発」

近年、茶の市場価格の低迷による離農や農家の高齢化により、小規模生産者が減少しており、担い手や農業法人へ茶園が集積されています。経営規模の拡大に伴い、全ての茶園の生育状況を把握することが困難になり、摘み遅れによる品質低下が懸念されています。そこで当センターでは、省力的に新芽の生育状況を評価するため、広域観測に優れるドローンを用いて、新芽の生育量及び成分を経時的に予測する技術の開発に取り組んでいます。使用するドローンはDJI社製 Phantom 4 Multispectral です。あらかじめ飛行経路を設定することで、自動で飛行撮影するため、基本的には操作は不要です。

・静岡県農業技術研究所 NEWS2023.10

<https://www.agri-exp.pref.shizuoka.jp/>

.....

編集後記

8月下旬から9月にかけての台風10号は、各地で長い時間にわたって猛烈な強い風が吹いて、総雨量も非常に多く、農林水産物への被害がありました。今後の収穫量の減少や価格高騰への影響が懸念されるどころです。9月に入っても高温傾向は続き、まだまだ猛暑日が続いています。食中毒に気を付け、栄養たっぷりの食材をいただいて元気に頑張りましょう。

さて、10月31日(木)に第3回セミナーをオンライン開催します。テーマ、講演者、演題等については決まり次第、メルマガ・HPでお知らせをいたします。第2回セミナー同様に奮ってご参加ください。

===== 《メールマガジンに関するお問い合わせは》 =====

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会 中山・道村

TEL&FAX : 052-789-4586

E-mail : bio-npo2*y4.dion.ne.jp (*を@に書き換えてください)

URL : <https://www.biotech-tokai.jp/>

東海生研のメルマガ配信の登録(無料)のご案内

<https://www.biotech-tokai.jp/ezine-reg>